

外国人従業員向け日本語教室

第2期「今すぐ使える！しごとの日本語教室」

主催：(公財)横浜市国際交流協会

「今すぐ使える！しごとの日本語教室」は横浜市内の企業で働く外国の方のための教室です。市内では企業等に就業する外国人の増加に伴い、職場で使える日本語の学習を希望する外国人も増加しています。

この教室は、外国人従業員が仕事や生活に必要な日本語や、職場での円滑なコミュニケーションのコツを学ぶこと、また同じ職場で働く日本人と外国人従業員との交流・相互理解を深めることを目的として、開催しました。

教室では職場にふさわしい丁寧な日本語表現の他、職場での会話のきっかけとなるよう、雑談などもテーマに取り上げ、会話を中心に学習を進めました。最終回には、企業担当者や異文化理解講座に参加した日本人と一緒に、これまでの学びを活かし、日本語でロールプレイなどを行いました。

参加企業からは、「社内で日本語を使う頻度がおおくなった」などの感想をいただきました。教室での学びが働く上でのよりよいコミュニケーションのきっかけとなれば嬉しく思います。

【教室で学べること】

①しごとの日本語

②しごとのマナー

③ 横浜生活情報

内容	しごとの日本語 ・ しごとのマナー ・ 横浜生活情報
講師	特定非営利活動法人 日本語教育研究所
日時/場所	2024年11月6日(水)～2025年1月15日(水) 毎週水曜日 19:30-21:00 (全10回) オンライン(Zoom)、第10回のみ対面開催(横浜市国際交流協会会議室)
対象	横浜市内の企業で働く外国人従業員
参加人数	学 習 者 :15人 (ベトナム8, インドネシア5, フィリピン1, パキスタン1) のべ130人 建設、介護、清掃、IT、会計、貿易 7社

参加者の声

- 会議など皆に自分の意見を伝えられるようになっていきます。
- よかったことは外国からの友達と会えること、良くなかったことは勉強時間が足りないです。
- 目上の人に対して礼儀正しくすることを学び、役に立ちました。

企業担当者の声

- 外国人社員が積極的に話すようになってきました。
- 受講生とはチャット、メールでのやりとりが多いが、以前は「はい」「分かりました」だけの返信だったのが、文章を長く具体的に返信してくれることが増えました。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

外国人従業員向け日本語教室 第2期「今すぐ使える！しごとの日本語教室」

第1回～第9回 オンライン授業

レベル毎にAグループ、Bグループの2グループに分かれ、仕事でよくある場面を取り上げて、学習を進めていきました。

あいづちをテーマに取り上げた回では、あいづちを交えて話を聞くことで、相手の話に興味・関心を持っていることが伝わりよい印象となることを伝えました。その後、「ええ」「たしかに」「そうなんですか」などよく使われるあいづち表現を学び、ロールプレイで会話練習を行いました。そして「はい、はい」「わかりました、わかりました」など2回言葉を繰り返すと、逆に印象がよくないことも、関心をもってメモをとる学習者の姿も見られました。

その他、仕事の際の雑談はどんな話題が適切か、時間厳守やチームワークについて、自分の国の例についても交えながらディスカッションし、日本の慣習に理解を深めていきました。

カリキュラム例 (Bグループ)	目標
1 自己紹介／職場での挨拶	職場で場面にあった挨拶ができる
2 時間の言い方／1日の生活	時間を正しく言うことができる
3 報連相で使う表現	職場で「報告」「連絡」「相談」ができる
4 いろいろなあいづち	会話の際に、あいづちを使って話を聞くことができる
5 指示を受ける時／クッション言葉	指示を受けた時、内容が確認できる
6 話の進め方／断る時の3ステップ	「断る」「理由を伝える」「代案を出す」の流れで、依頼や誘いを断ることができる
7 注意を受けた時／「すみません」の意味	注意を受けた時、謝罪の言葉を伝えることができる 今後どうするのか伝えることができる
8 雑談／天気、季節、行事の話題	しごとの場面で、適切な話題で雑談ができる
9 チームワークをよくするには	お礼の習慣や表現を知り、感謝の気持ちを伝えられる
10 企業担当者との活動	丁寧な日本語で自己紹介ができる 相手の発話を聞き取り、内容が理解できる

第10回 対面授業

最終回には企業担当者、異文化理解講座受講者も参加し、これまで学んできた日本語表現も使いながら、ロールプレイなどで実際に日本人と会話をしていきました。

「現在は〇〇という会社で、〇〇の仕事をしております」など丁寧な日本語で自己紹介した後、「今日は寒いですね」「そうですね」と天気の話なども自然な流れで、あいづちも交えながら話すことができました。

学習者からは、「他国のクラスメートがいつも熱心に勉強していてすごいと思った。最終回で皆と会えて嬉しかった」との声があり、教室を通して日本語の学びだけでなく互いに刺激を受けたり、交流を楽しんでいた様子がありました。

【ロールプレイ】
場面：
AさんとBさんは、初めて会います。お互いに自己紹介をして、短い雑談をしてください。



よこはま日本語学習支援センター
Yokohama NIHONGO Support Center
<https://yokohama-nihongo.com>
運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

